

GG

5

From Governor (細淵雅邦) / ロータリー特別月間・青少年奉仕
(大塚崇行・佐藤誠・北條健二・斉藤清和・樋口雅之) / 2022年規定審議会に
於ける、「クラブと地区に関連する重要な変更」について (熊木広光)
国際ロータリー第2770地区インターシティミーティング (那須敬明)



青少年交換プログラム・来日学生9名

From Governor

国際ロータリー第 2770 地区 ガバナー 細淵 雅邦 (浦和 RC)



ガバナー月信（GG）5月号となりました。

今年のゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたでしょうか？新型コロナウイルス感染症対策で、3月13日からは、以前の屋外では原則不要、屋内では原則着用としていたマスク着用は個人の判断が基本に変更されました。そして、5月8日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され現在の、「法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み」から、「個人の選択を尊重し、国民の自主的な取組をベースにしたもの」となり、少しずつですがコロナ禍前の状況、生活に戻りつつあります。

さて、今月は若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる「青少年奉仕月間」です。2770地区においては青少年奉仕部門にはインターアクト、RYLA、青少年交換、ローターアクトと4委員がそれぞれ活発に行動しています。

今年のRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）は、若い人たちが楽しみながら新しいスキルと自信を身につけることを目指すリーダーシップ養成の目的に則り、「環境と平和を沖縄の地で考えよう！」をテーマに5月13日～15日に開催を予定しています。本年度は24名の研修生を迎え本番の沖縄研修に向けて事前に2回の研修会を進めています。事業推進に向け企画・立案、参加者募集、研修設営から講師の招聘など委員会がワンチームとなり頑張っており準備中です、ありが

とうございます。

いま、RYLAを含めロータリーでの青少年奉仕活動を通じ考えることがあります。次世代のリーダーを育てることの大切さを信じ、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援する青少年奉事業ですが、もう一つ大切なことがあるのではと。それは、各カテゴリー毎の事業、対象年齢などにかかわらずこの奉仕部門の活動を進めていく理由、価値の一つは、青少年を通じ、我々、ロータリー会員自身が青少年の模範となるべく自らが気づき、学び、成長していく、ことなのかと。

今回のRYLA開催にあたり開催地選定、具体的な研修内容などについて、同期の国際ロータリー第2580地区（東京・沖縄）嶋村文男ガバナー（2022-2023年度ガバナー会議長）にご協力とご支援をいただき進めてきました、この場をお借りして皆様にご報告、そして、嶋村ガバナーには心から感謝を申し上げたいと存じます。

トルコ・シリア大地震救援募金活動ご協力についてのご協力依頼を2月15日付書簡にて地区74クラブに送付させていただきました。我が国にもロータリーを通じ多くの関係国の留学生が来日しております。今回、ガバナー会では被災民支援や復興支援に最も効果的かつ速やかな支援を目的に全国34地区の有志地区を募りとりまとめることにいたしました。

皆様よりご支援いただいた義援金をとりまとめ地区として450万円としガバナー会へ送金致しました。その結果、国内29地区から合計日本円88,604,966円を被災地であるトルコ第2430地区宛に送金をさせていただくことになりました。なお、今回のトルコ・シリア大地震救援募金では八潮RC田中作次元RI会長より100万円の義援金をご支援いただきました事をご報告いたします。今回も多数のクラブの皆様より多額のご協力とご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに、安全と被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

結びに、今年度も残すところ2ヶ月を切りました。各クラブにおかれましては最後まで全力で走りぬけ、次年度に全力で襷を渡していただきたいと思います。残りの日々を全力で今月もロータリーの活性化に向け、爽やかに颯爽と駆けぬけ、充実したロータリーライフで楽しみたいと思います。ロータリークラブの主役はクラブです。そして、クラブの主人公は会員の皆さんお一人おひとりです。皆さんと共に世界平和とロータリーの活性化に向け、輝く、魅力ある、そして、世界で最も“パーフェクト・アコード/Perfect Accord” 一体感あり調和のある「クラブづくり」を進めていきたいと思っています。

ロータリー特別月間・青少年奉仕



青少年奉仕部門委員長
大塚 崇行
(上尾RC)

青少年奉仕部門では今年度ジェニファー・ジョーンズRI会長テーマ「イマジン ロータリー」。そして細淵ガバナーの地区運営方針「創造しよう未来への調和をーロータリーにDEIの爽やかな風をー」のもと、青少年に対する幅広い積極的な奉仕活動を行ってまいりました。4委員会の活動は各委員会報告を参照いただくとしまして、全体としてはコロナ禍を乗り越えた「再開」と「変化」の一年でありました。

RYLA研修は昨年度3年ぶりに再開し、青少年交換の交換留学も今年度3年ぶりの再開。インターアクトの韓国との交換留学交流事業は4年ぶりに再開をいたしました。各事業は毎年行っているが継続事業として引継ぎは比較的容易に行われてきましたが、一度止まってしまうとそこからの再開は大変な労力が必要となりました。それでも各委員会はその状況乗り越えて事業を再開する

ことが出来ました。本当に委員長及び委員の皆様には感謝しております。

また、ローターアクトに関してはRIへの加盟が認められ、今までとは立ち位置が違って来る中で、地区ローターアクトとしてどのように活動していくか悩まれた中で、「Borderless ACT」(ボーダレス・アクト)という地区ターゲットを掲げ、垣根を超えた幅広い交流と活動を行っていただきました。地区ローターアクトの皆様には今後に関わる基盤作りをしていただいたと思っており感謝しております。

このように4委員会様々な課題と変化がある中で活動でしたが、青少年奉仕部門は各クラブ・ロータリアンの協力が無くては成り立たない部門です。今年度も多くのクラブ・ロータリアンご協力のもと活動が行えてきました。皆様のご協力に感謝を申し上げます。

青少年奉仕は未来の奉仕世代を創造する素晴らしい活動です。今年度残りの二か月で確りと形を残し、次年度へ引き継げるよう努めてまいりますので引き続き皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



インターアクト委員長 佐藤 誠 (大宮南 RC)

国際ロータリーが定める第5の奉仕である青少年奉仕の中で12歳から18歳の青少年を対象にするのがこのインターアクト委員会です。

中学生から高校生という人生の中でも重要な期間の中で様々な経験をすることで地域社会の発展や国際相互理解に貢献する人材に成長するための活動を強力に応援していきたいという活動方針を掲げて年度がスタートしました。

しかしながら3年にわたるコロナ禍にあって従来の活動が中止を余儀なくされてきた中で、特にインターアクターの一番の楽しみでもある韓国研修が再開できるのかもわからない年度スタートでもありました。

7月、3年ぶりに会場集合開催となったインターアクト年次大会の際、細淵ガバナーのご英断をいただき韓国研修の再開が決定しました。

実にこちらは4年ぶりとなる韓国3750地区との相互連絡を始めとしてコロナ前との様々な変化、渡航費用の大幅アップや入出国時に新たに必要とされる手続きへの対応、万が一の渡航中や受

け入れ中のコロナ感染に伴う費用の保険カバーの確認等々。

年が明けての2月、まずは3750地区イ・ジョンホンPGを団長とする訪日団36名の受け入れと鴻巣高校、鴻巣ロータリークラブによるインターアクト協議会・訪日団歓迎会の開催。

翌3月には浅水PGを団長にインターアクト生徒30名引率教師及びロータリアン7名の総勢37名からなる訪韓団。

それぞれ双方の各ロータリークラブ、ホストファミリーの大きなご理解ご協力のもとに無事に実施終了することが出来ました。

委員会メンバー全員がそれぞれに役割を果たしていただき、苦勞もありましたが、何よりも日韓双方の生徒の楽しかったという言葉と笑顔に再開出来た喜びが勝る思いでした。

一旦止まってしまうていた車輪をまた動かすにはパワーが必要です。しかし今回それが再び回りだした事で30年以上に渡る2770地区と3750地区との交流が以前に増して加速していくことを確信しています。

細淵ガバナーはじめ関係各位の皆様のご協力、改めて感謝申し上げます。





ローターアクト委員会 委員長 北條 健二 (川口シティ鳩ヶ谷 RC)

まず、ローターアクト委員会は、他の委員会と違い、地区ローターアクトが具体的な年間奉仕事業を計画し実行することに対して、金銭面、精神面をサポートしていく役割が主だということを念頭に述べさせていただいた上で、本年度の活動報告を下記の通りさせていただきます。

本年度は、現地区ローターアクト代表の意向により、従来の地区ローターアクト主体の奉仕活動から、各ローターアクトクラブ主体の奉仕活動に大きく方向転換をさせた年度になりました。

その意図としましては、従来の地区ローターアクトの奉仕活動が活発に行われていたことを認識出来ていたのは、ローターアクト委員会、そして各ローターアクトクラブから出向している地区ローターアクト役員、そして年4回開催している会長・幹事会に参加する各クラブの会長幹事が主であったため、もっと各クラブのメンバーに奉仕活動の内容を浸透させ、ローターアクト活動は楽しいものだと感じてもらいたいという狙いからでした。

従いまして、例年よりもローターアクト委員会が地区ローターアクトの奉仕活動に参加する機会が減ったことも事実でございます。

新年度から早10ヶ月が経過しましたが、会長幹事会にて、クラブ主体の奉仕活動の計画を立て、いくつかのクラブが合同で奉仕事業を行っていく、という企画が功を奏し、今までにない各クラブ間での活発な合同奉仕活動を行うことに成功しました。

一方で、ローターアクト委員会としての活動としては、2023年1月15日に地区ローターアクト初の試みで「ガバナー公式訪問」を開催し、細淵ガバナー及び岡村ガバナーノミニに卓話をして頂き、そして、ローターアクトに対する知識を深めて頂くためのQ & Aなどを行いましたが、委員会としては運営のサポートをさせていただきました。

最後になりますが、令和5年4月23日に、ローターアクトとしての一大イベントである地区年次大会を開催致しますが、そこでも委員会として運営のサポートをさせて頂く予定になっております。





RYLA 委員会委員長 斉藤 清和 (蓮田 RC)

RYLA = 「Rotary Youth Leadership Awards」
ロータリー青少年指導者育成プログラム
※主に 18 歳～ 30 歳代くらいまでの
若い世代を対象としています。

今年度 RYLA 委員会では「平和」「環境」の 2 大テーマを掲げ、研修会を予定・活動してまいりました。RYLA 研修セミナーは第 1 回事前研修会を 3 月に川口総合文化会館（川口リリア）にて行いました。細淵雅邦ガバナー及び大塚崇行青少年部門委員長を講師にお招きしロータリーや青少年奉仕について、周囲とのコミュニケーションをとりながら楽しく学びました。第 2 回事前研修会は 4 月に開催し、禅教育普及会の笠倉玉溪会長に禅の精神から見た「心」や「平和」について、また、埼玉県環境科学国際センターの植松光夫総長からは従来とは少し変わった視点からの地球温暖化対策についてのご講義いただき、「環境について」というテーマのもとグループディスカッションを行いました。それぞれのグループがそれぞれ

の立場（学生・社会人・奨学生・ローターアクト等）観点から発言・発表をしました。

さて、今年度の研修予定も 5 月に行われる「本研修」を残すのみとなりました。開催地は沖縄本島を予定しております。日本国という中で唯一の地上戦が行われ戦争の痕跡が残り現在もアメリカ軍の基地問題やそれにまつわる様々な問題を抱える「沖縄」、また歴史的な面も観光資源として見た場合も重要な地が豊富な「沖縄」。そんな沖縄が直面する環境問題を沖縄の内側と外側からの両視点から捉え、理解し共に考え、そして平和を見つめなおすことができる研修会を開催したいと考えております。

研修生の多くはロータリアンの親族や従業員、米山奨学生、ローターアクトです。年代も 10 ～ 30 代と幅もあり、出身国も違う。そのような多種多様な人間と知り合うことができるのもこの RYLA 研修の醍醐味だろうと思います。今後できることであれば「RYLA 研修修了生の集い」のような催しが開催できるといいなと勝手に考えております。

また、細淵がバナーや梨本ガバナーエレクトをはじめ、多くのロータリアンにご賛同、ご協力いただいておりますことこの場をお借りして御礼申し上げます。RYLA 委員会を今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。





青少年交換委員会委員長 樋口 雅之 (上尾 RC)

コロナ禍で中止を余儀なくされていた青少年交換プログラムが、本年度3年ぶりに再開されました。当地区では本年度、派遣学生9名、来日学生9名の交換です。

また、次年度派遣候補生として7名の高校生を選抜し研修中で、本年1月に派遣国が確定しました。現在、各国とのビザや留学関係書類のやり取りを進めているところです。

本年度は来日学生の最初の特別合宿がコロナの影響で1泊ではなく会議室で半日研修という日程に変更となった以外は、すべてのオリエンテーション、ほぼすべての行事や企画、ツアーなどが予定どおり開催できております。

課題といたしましては、丸2年度空いてしまったため、各種事業、書類等の実務の引継ぎが完全にできておらず、久しぶりの再開にあたって委員会においても試行錯誤の連続であること。

そして喫緊の課題として、青少年交換学友(ROTEX)の引継ぎについてかなりの困難が予想されるということです。次年度ROTEX幹部として活躍していただくメンバーは、2020年春にコロナ感染拡大の影響により早期帰国を余儀なくされた年度であり、その後は丸2年空いてしまいます。現在派遣中の9名が帰国し、大学受験等を終えて落ち着いて、ROTEXとして復帰し活躍してくれるまで、なんとか引き継いでいかなければなりません。同時に、これまで例年20名規模で交換をしていた当地区ですが、本年度は9名、次年度は7名と、これまでの半分以下の人数しか居ない年度が続きます。

ROTEXの協力なくして本プログラムは成立しません。委員会といたしましても、本年度、次年度ROTEX幹部と綿密に打ち合わせのうえ、これまで以上に委員(ロータリアン)が役割分担等の協力をして、ROTEXの負担を軽減し、スムーズに運営と引継ぎができるよう、努めてまいります。

引き続き、地区内各クラブの皆さまの青少年交換プログラムへのより一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



次年度に向け、2022 年規定審議会に於ける、



管理運営部門 規定審議会検討委員会
委員長
熊木 広光 (大宮中央 RC)

皆様ご承知の通り、2022 年
その結果や経緯について、改
要性を強調し、この機会をと
また、会長エレクトに措か
の日本語版手続要覧をもとに

2022 年標準ロータリークラブ定款（変更箇所）

第 1 条 定義

1. 理事会：本クラブの理事会
2. 細則：本クラブの細則
3. 理事：本クラブ理事会の理事
4. 会員名譽会員以外の本クラブ会員
5. RI：国際ロータリー
6. 衛星クラブ潜在的クラブ。その会員は**いずれかのクラブ**の会員でもある（該当する場合）：
7. 書面：文書化が可能なコミュニケーション。通信手段は問わない。
8. 年度：7 月 1 日に始まる 12 カ月間

第 6 条 五大奉仕部門

- ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実質的な規準である。
1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
 2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を实践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
 3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、**地域社会における積極的平和を目指すことにより**、クラブの所在地域または行政区内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
 4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、**積極的平和**を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
 5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、**積極的世界平和**と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

第 7 条 会合

- 第 3 節—理事会の会合。理事会のすべての会合後 **30 日**以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにすべきである。

第 8 条 会員身分

- 第 3 節—正会員。RI 定款**第 4 条第 2 節 (a)** の資格条件を有する者は、クラブの正会員に選ぶことができる。
- 第 4 節—衛星クラブの会員。本クラブの衛星クラブの会員は**いずれかのクラブ**の会員でもあり、これは衛星クラブがロータリークラブとして RI から加盟が認められるまで続く。
- 第 5 節—二重会員の禁止。いかなる会員も、同時に、
- (a) 本クラブと、**いずれかのクラブ**の衛星クラブ以外の別のクラブに所属することはできない、または
 - (b) 本クラブにおいて、名誉会員になることはできない。

第 10 条 出席

- 第 5 節—出席規定の免除。次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。
- (a) 理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によるものを承認する。このような出席規定の適用の免除は、最長 12 カ月間までとする。ただし、健康上の理由、子どもの誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会が当初の 12 カ月を超えて延長することができる。
 - (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が 85 年以上であり、少なくとも 20 年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、**これらの要件が満たされているかのみが考慮に入れられた場合**。

第 13 条 会員身分の存続

- 第 2 節—自動的終結。
- 会員が、会員資格条件に欠けるようになったとき、会員身分は自動的に終結するものとする。**

- (a) 再入会。瑕疵なき会員の会員身分が終結した場合、その人物は同じ職業分類または別の事業、専門職務、職業、社会奉仕、その他の職業分類の下に、再度新たに入会申請をすることができる。
- (b) 名誉会員の会員身分の終結。名誉会員の会員身分は、延長されない限り、理事会が決定した期間の終了をもって自動的に終結する。理事会はいつでも名誉会員身分を取り消すことができる。

「クラブと地区に関連する重要な変更」について

4月に規定審議会が開催され、22年規定審議会では様々な立法案が審議され、細淵年度7月1日より施行されております。めて再認識して頂きたく、「クラブと地区に関連する重要な変更」の掲載をさせていただきます。変化を受け入れることの必らえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーを目指しましょう。れましては、次年度へ向け、年度計画書等、「標準ロータリークラブ定款」の作成をされている時期かと思ひます。最新「標準ロータリークラブ定款」の変更箇所の確認をして頂き、会員皆様への周知をお願い致します。

この件で、ご質問がございましたら、管理運営部門規定審議会検討委員会 委員長熊木広光までお問い合わせ下さい。またクラブで、例会や研修会等、卓話が必要になりましたら委員会より出向させていただきます。

2019年標準ロータリークラブ定款

第1条 定義

1. 理事会：本クラブの理事会
2. 細則：本クラブの細則
3. 理事：本クラブの理事
4. 会員名譽会員以外の本クラブ会員
5. RI：国際ロータリー
6. 衛星クラブ潜在的クラブ。その会員は本クラブの会員でもある。
(該当する場合)：
7. 書面：文書化が可能なコミュニケーション。通信手段は問わない。
8. 年度：7月1日に始まる12カ月間

第6条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実質的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を实践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、**平和**を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、**世界平和**と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

第7条 会合

第3節—理事会の会合。理事会のすべての会合後60日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにすべきである。

第8条 会員身分

第3節—正会員。RI定款第5条第2節の資格条件を有する者は、クラブの正会員に選ぶことができる。

第4節—衛星クラブの会員。本クラブの衛星クラブの会員は本クラブの会員でもあり、これは衛星クラブがロータリークラブとしてRIから加盟が認められるまで続く。

第5節—二重会員の禁止。いかなる会員も、同時に、

- (a) 本クラブと、本クラブの衛星クラブ以外の別のクラブに所属することはできない、または
- (b) 本クラブにおいて、名誉会員になることはできない。

第10条 出席

第5節—出席規定の免除。次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (a) 理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によるものを承認する。このような出席規定の適用の免除は、最長12カ月間までとする。ただし、健康上の理由、子どもの誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会が当初の12カ月を超えて延長することができる。
- (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、少なくとも20年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、**理事会が承認した場合**。

第13条 会員身分の存続

第2節—自動的終結。

- (a) **例外**。会員が、会員資格条件に欠けるようになったとき、会員身分は自動的に終結するものとする。ただし、会員が本クラブの所在地域外、もしくはその周辺地域外に移転するが、引き続きクラブ会員のすべての条件を満たしている場合、理事会は
 - (1) 会員が本クラブに留まることを許可する。または、
 - (2) 新しい地域社会にあるロータリークラブを訪問して知り合いになってもらうために1年以内の期間に限り、出席義務規定の特別免除を与えることができる。
- (b) 再入会。瑕疵なき会員の会員身分が本節(a)項の規定によって終結した場合、その人物は同じ職業分類または別の事業、専門職務、職業、社会奉仕、その他の職業分類の下に、再度新たに入会申込をすることができる。
- (c) 名誉会員の会員身分の終結。名誉会員の会員身分は、延長されない限り、理事会が決定した期間の終了をもって自動的に終結する。理事会はいつでも名誉会員身分を取り消すことができる

2022 年規定審議会 (RI 定款) (RI 細則) (標準ロータリークラブ定款) クラブと地区に関連する重要な変更 (細淵年度 7 月 1 日より施行)

出席

ローターアクター：ローターアクターは、招待されなくてもロータリークラブとロータリー衛星クラブの例会に出席できることが明文化されました (RI 細則)。

報告：クラブが地区ガバナーに月次出席報告を提出する義務は廃止されました (RI 細則)。RI2770 地区は従来通り報告

出席規定の免除：次の要件が満たされた場合、会員が出席規定の免除を受けるためにクラブ理事会の承認を必要としないことが明確になりました。「一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が 85 年以上であり、少なくとも 20 年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告した場合」(標準ロータリークラブ定款)。

奉仕部門

平和：標準ロータリークラブ定款の第三奉仕部門が次のように改正されます：

「奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである」。ロータリーのパートナー団体である経済平和研究所は、「積極的平和」を「平和な社会を作り、維持するために必要な行動・姿勢、組織、構成」と定義し、その要素には、「良好なビジネス環境、資源の公平な配分、情報の自由な流通、高レベルな人的資本、他者の人権の受容、低レベルの腐敗／汚職など」が含まれます (標準ロータリークラブ定款)。

クラブ

訴訟：地区に対して訴訟が起こされたり、訴訟が継続されたりした場合、RI 理事会は、訴訟を起こした／継続したクラブまたはローターアクトクラブ、あるいは訴訟を起こした／継続した会員またはローターアクターを有するクラブまたはローターアクトクラブを、加盟停止または終結する権限が与えられます (RI 細則)。

クラブ理事会の議事録：理事会のすべての会合後 30 日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにするべきです (以前は 60 日以内) (標準ロータリークラブ定款)。

クラブ財務

クラブ人頭分担金の増額：よりよい支援をクラブに提供するため、RI 人頭分担金は、2022-23 年度には半年ごとに米貨 35 ドル 50 セント、2023-24 年度には半年ごとに米貨 37 ドル 50 セント、2024-25 年度には半年ごとに米貨 39 ドル 25 セント、2025-26 年度には半年ごとに米貨 41 ドルとなります (RI 細則)。

審議会

立法案：地区は、クラブ提案の立法案と同様の承認手続きによって、規定審議会に制定案を、決議審議会に決議案を提出できるようになりました。地区が提案する制定案と決議案は、地区大会、地区立法案検討会、RIBI 地区審議会、またはガバナーの実施するクラブ投票によって承認を受けなければなりません (RI 定款)。

採択された決議案：RI 理事会は、決議審議会の終了から 1 年以内に、審議会によって採択された決議にかかわるすべての理事会の決定について、全地区ガバナーに通知することが義務づけられます (RI 定款)。

地区

ゾーン内のセクション：RI 理事会がゾーン内のセクションを新設、変更、廃止する際にクラブの過半数の承認を必要とするという規定が廃止されました (RI 細則)。

地区の境界変更：地区の境界の変更基準が変更されたことにより、RI 理事会は、クラブ数が 20 未満またはロータリアン数が 1,100 名未満の地区の境界を変更、またはそれらの地区のクラブを近隣地区に統合、あるいはクラブ数が 100 またはロータリアン数が 5,400 名を上回る地区を分割することができるようになりました (RI 細則)。

試験的プロジェクト：RI 理事会は、影響を受ける全地区による承認を得ることを条件として、RIBI および／またはオーストラリアとニュージーランドを含むゾーン内のクラブの管理方法として試験的プロジェクトを創設できます (RI 定款)。

ガバナーの選出：候補者推薦の提出の要請は、指名委員会への推薦の締切日の少なくとも 2 カ月前までに行われなければならないことが明確になりました。また、後継者の選出が既に完了している場合におけるガバナーノミニーとガバナーエレクトの空席を埋めるための 手続きが明確になりました (RI 細則)。

会員

公平さとインクルージョン：すべてのロータリークラブとローターアクトクラブが構築に努めるべき「バランスの取れた会員基盤」の定義の一部として、多様性に加えて公平さとインクルージョンが追加されました (RI 細則)。

所在地域：会員がクラブの所在地域に住居または事業場を有するという要件が廃止されました (RI 定款) (標準ロータリークラブ定款)。

入会候補者：正会員はどのクラブに対しても入会候補者を推薦できるようになりました (RI 細則)。

衛星クラブ：衛星クラブの会員は一つのスポンサークラブのみの会員である必要はなくなりました (RI 細則) (標準ロータリークラブ定款)。

RI 委員会

ローターアクト：ローターアクターは RI 委員会の委員を務めることができるようになりました (RI 細則)。

RI 財務

年次報告書と予算：すべてのクラブとローターアクトクラブは、RI の年次報告書と予算を RI ウェブサイトから入手できるものとするが規定されました (RI 細則)。

RI 役員

RI 理事：RI 理事および理事指名委員会委員の資格条件から、ロータリー研究会と国際大会への出席という条件が削除されました (RI 細則)。

元役員という立場：RI 理事会は、そのような決定が下されるべきではない理由を元役員が述べる聴聞の機会を与えた後で、ロータリアンの元役員身分を剥奪する権限が与えられます (RI 細則)。

ロータリー財団

大口寄付 12,007,665

マルチプル(6)

マルチプル(6)

マルチプル(5)

マルチプル(1)

マルチプル(1)

ポール・ハリス・フェロー



森田 康之
(川口北)
令和5年4月17日



島田 昌明
(川口むさし野)
令和5年4月4日



戸塚 博之
(蕨)
令和5年1月30日



小宮 清
(蕨)
令和5年1月30日



小泉 徹洋
(蕨)
令和5年1月30日



小岩井 忠
(上尾西)
令和5年3月30日



大石 圭子
(蕨)
令和5年1月30日

ロータリー財団



大宮西
ロータリークラブ
令和5年3月31日

米山奨学会

米山功労者メジャーダー(27)

米山功労者マルチプル(7)

米山功労者マルチプル(5)

米山功労者マルチプル(2)



恵川 一成
(大宮シティ)
令和5年4月5日



斉木 澄子
(川口南)
令和5年3月27日



仁多見 廣和
(越谷南)
令和5年3月31日



名取 俊行
(大宮シティ)
令和5年4月5日



大宮西
ロータリークラブ
令和5年3月31日



川口南
ロータリークラブ
令和5年4月14日

新 会 員

阿部 勇二郎
(川口)令和5年3月9日入会
埼玉縣信用金庫川口朝日支店
信用金庫岩崎 真佐美
(川口)令和5年3月9日入会
株式会社セレモニー
冠婚葬祭業大石 雅寛
(川口)令和5年3月23日入会
宮下・大石法律事務所
弁護士田所 宗一郎
(浦和南)令和5年3月27日入会
シーケンシャルビジョン株式会社
保険代理久保 裕毅
(大宮西)令和5年3月27日入会
埼玉縣信用金庫大宮西支店
金融業中里 智博
(越谷)令和5年3月28日入会
宗教法人浄音寺
仏教大河内 一利
(大宮)令和5年3月29日入会
株式会社鍵利商店

新 会 員

小野寺 瑛子
(越谷北)令和5年3月29日入会
社会保険労務士事務所 新創
社会保険労務士倉橋 英一
(大宮南)令和5年4月1日入会
株式会社高島屋大宮店
百貨店内藤 公代
(大宮西)令和5年4月3日入会
株式会社リープ
衣料品小売業清水 明仁
(大宮西)令和5年4月3日入会
株式会社システム企画
電気通信工事業大川 敦史
(川口/鳩ヶ谷武南)令和5年4月5日入会
株式会社SRインシュアランス
生命損害保険代理店山口 清茂
(戸田西)令和5年4月6日入会
株式会社コウエキ
建設業木谷 裕司
(浦和東)令和5年4月13日入会
朝日生命保険相互会社浦和中央営業所
生命保険

新 会 員

仲川 厚子
(浦和東)令和5年4月13日入会
仲川工務店
建築工事業下館 貴子
(浦和)令和5年4月14日入会
株式会社セレモニー
冠婚葬祭互助会河本 純一
(浦和)令和5年4月14日入会
株式会社セレモニー
冠婚葬祭互助会川寄 真也
(浦和)令和5年4月14日入会
SMCB興証券株式会社浦和支店
証券業小林 智美
(浦和)令和5年4月14日入会
浦和ワシントンホテル株式会社
ホテル山下 洋志
(浦和)令和5年4月14日入会
株式会社三越伊勢丹 伊勢丹浦和店
百貨店

訃 報

謹んでお悔やみ申し上げます。

鈴木 弘道
(久喜)2023年3月1日逝去
享年 83 歳



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

277

2023年4月13日
発行

1. 第5代よねやま親善大使が決定！

昨年12月から約2カ月間にわたって行われた「第5代よねやま親善大使」の募集には、多くの優秀な学友から応募が集まり、最終的に33人の応募者数となりました。

募集締め切り後、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、ご応募いただいた方々の中から、以下の3人が第5代よねやま

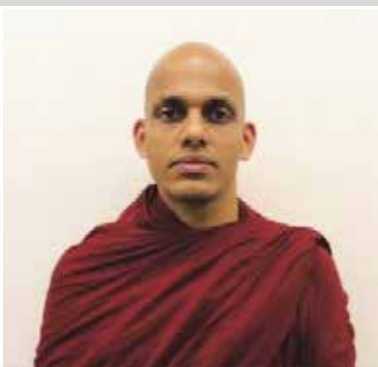
親善大使に決定しました。

任期は2023年7月から2年間。日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使の派遣をご希望される方は、当会事務局の広報担当へご連絡ください。



陳 瑶 (チン ヨウ)
(中国/2012-14/四日市東RC)

大手企業会社員。2018年度から2年間、第2750地区米山学友会会長を務め、今年度からは同学友会副会長として活動中。中国国家衛生健康委員会と厚生労働省、各医科・薬科大学のトップ層会談や医学術交流において通訳を担当。愛称は「マリオ」さん。



ウエンブウエイ スマナサラ
(スリランカ/2018-20/京都中RC)

一燈園の研究員。「NP0 アシヨーカ」を設立し、子どもの教育を支援。ウクライナ、スリランカ、インド、ネパールの学生らに対し、日本語、日本の文化・技術を教えながら、異文化理解促進、平和で幸せな世界をつくる活動に尽力している。



イメン ジェブリ
(チュニジア/2019-21/西宮RC)

東京理科大学勤務。外国人女性と日本人女性に奨学金を提供する団体(CWAJ)でボランティア活動中。視覚障害者への奨学金や、英会話教育を行う。36,000人のフォロワーを持つFacebookページ「Welcome to Japan」を運営し、日本文化や観光地を紹介。

2. 寄付金速報 — 3月も順調に推移 —

前年同期比

+ 5.9%

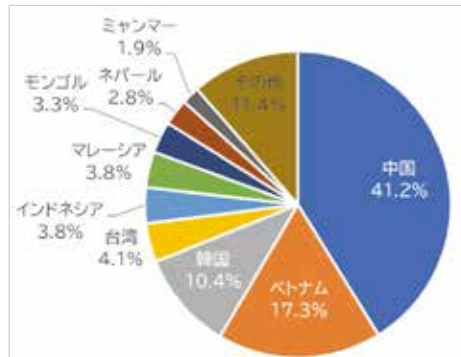
普 - 2.0% 特 + 10.1%

3月までの寄付金は前年同期と比べて5.9%増（普通寄付金：2.0%減、特別寄付金：10.1%増）、約6,700万円の増加となりました。3月単月の

寄付合計金額が5,000万円を超えたのは、前年度を除くと2018年度以来となり、コロナ禍以前の寄付状況に戻りつつあります。今年度も残り2カ月半余りとなりました。ご寄付を今年度実績扱いにするためには、6月30日（金）までに当会口座に着金するようご送金ください。よろしく願いいたします。

3. 2023 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2023 学年度の奨学生は 901 人となりました。新規採用者 648 人、継続者 253 人です（4 月 7 日現在）。国・地域別では、中国 41.2%、ベトナム 17.3%、韓国 10.4%、台湾 4.1%、インドネシア、マレーシアが同率で 3.8% の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 845 人（学部 441 人、修士 237 人、博士 167 人）、地区奨励奨学金が 22 人、クラブ支援奨学金が 13 人、海外学



友会推薦奨学金が 4 人、海外応募者対象奨学金が 17 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

4. タイ米山学友会 総会開催

2 月 25 日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催されました。3 年ぶりの対面開催となった今回、26 人の学友に加え、日本からは、ロータリアンとその家族を含む 7 人が参加し、会場には 33 人が集いました。

総会では、委員会の開催や会計報告のほか、病院への医療機器寄贈、小学校への遊具やスポーツ用品寄贈といった年間の活動報告、今年 8 月に開催される「再会 in 関東」についてのアナウンスがありました。同学友会会長のワラウト・ブンロッドさん（1995-97／福岡東南 RC）は、「ご参加いただいた多くの関係者と、日本か

ら足を運んでいただいたロータリアンの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。久々の対面開催でしたが、タイ学友会の強い結束力、協調性、積極性でやりきることができました。次年度も、より盛大に総会を開催できるよう頑張りたいと思います」と意気込みを語りました。



きれいな景色を背景に記念撮影

5. 米山学友が日本の高校で出前講義

3 月 17 日、国際ロータリー第 2750 地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて国際交流活動を行いました。この活動は、もともと東京米山友愛ロータリークラブと東京米山ロータリー E クラブ 2750 が合同主催していましたが、学校側の日程都合により、今回からは同地区の学友会が主催しています。



教室で一息つく講師たち

当日は、同校の 2 年生の生徒 269 人に対し、6 人の米山学友と 1 人の現役奨学生に加え、1 人のローターアクトが講師として参加。それぞれの講師が授業形式で 7 つのクラスを回り、日本語と出身国の言葉を交えながら、自己紹介や興味のある話題、自国文化について紹介しました。今回の活動を後援し、同行した東京米山ロータリー E クラブ 2750 の疋田淳子会長は「講師がしっかり準備して臨んだことで、活気と笑い声に包まれるクラスばかりで、大変有意義な授業になりました。ぜひこれからも継続してほしい奉仕活動です」と感想を述べました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・長尾(ながお)

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年5月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター



第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成 (あすか)

4月は入学式や入社式で新メンバーがそろって、不安と期待で心弾ませつつ新しい一歩を踏み出す活気あふれる季節でもあります。

ロータリーにおいても新会員の入会は、クラブにとって組織活性化になり、会員にとってその人生の転機につながるという大きな意義あるものです。

ロータリーの新会員を迎えるオリエンテーションでは、ロータリーの中核的価値観を始め基本的かつ重要なロータリー情報が伝達されていることと思います。

そのひとつに、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）の行動規範が加わりました。

この行動規範は、ロータリーの中核的価値観を反映したものであり、クラブ会員全員に周知されてロータリーの様々な会合、研修、行事などあらゆる場において適用されるものです。その全文は My Rotary にもありますが、その中の一部を以下に抜粋いたします。

期待事項

すべてのクラブ会員、ロータリープログラムの参加者、学友、プロジェクトのパートナー、ロータリー代表者を含む参加者は、この行動規範を遵守し、他者を配慮し、誰もが尊重され大切にされる協力的でインクルーシブ、かつ前向きで健全な環境に寄与することが求められています。

他者を尊重する言葉を使う

- ・相手への理解を深めるために、アクティブリスニング（積極的傾聴）を実践する。
- ・わかりやすく話し、すべての人が理解できない可能性のある略語や専門用語は避ける。

サポートを示す

- ・他者の味方・擁護者となり、必要だと思われる場合には介入する心構えをもつ。
- ・不適切な行為を見たり聞いたりした場合、その影響を受けた人をサポートする。

温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する

- ・温かく迎える環境をつくり、対話、プロジェクト、行事にすべての人を含める。
- ・クラブと地区でリーダー的役割を担う機会をすべての人に開く。

多様性を重んじる

- ・特定の人々を固定概念に当てはめたり、からかったりすることを避ける。
- ・異なるジェンダーを認識し、尊重する。

DEIの行動規範をもとにして、ロータリアンやその関係するすべての人々にとって居心地と風通しの良い風土を築く努力をすることが、魅力あるクラブを育てることになります。

DEIは魅力あるロータリーへの会員増強とともに、一人も取り残すことのないクラブの退会防止につながる大きな切り札と考えます。

社会的弱者と呼ばれている人々の為のみならず、私たち全てのロータリアン一人ひとりにとっても大いに関連するDEIと認識していきたいものです。

会員意識調査

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一 (新居浜)



約3年におよんだコロナ騒動もようやく収まりを見せつつあり、これから本格的にロータリー活動も再開されるものと思います。人口減少下の我が国において、ロータリークラブも会員数の維持・増強は喫緊の課題であり、各クラブの皆様方も会員の維持・拡大にご苦労なさっておられる事と思います。

会員数の拡大・増強もさることながら、現会員の退会防止・維持も重要であると思われます。現会員の皆様が、現状のロータリークラブについてどう感じておられるか、満足しているのか、否か！今後どのような活動をしていきたいのか等々を把握することも重要だと思います。

その意味で、本年2月に開催されました第2670地区愛媛第1分区IMでの会員アンケートの結果をご報告させて頂きたいと思います。今後の活動に少しでも参考になれば幸いです。

以下アンケート項目並びに回答を報告致します。(対象者第2670地区愛媛第1分区9クラブ364名)

紙面の制約上、ごく一部しか報告出来ないのは残念ですが、如何でしょうか？結果は皆さまの感性ですが、私は前向きにとらえています。

それぞれの会員は現状に満足し、存在・価値を高く評価していると思います。ロータリー運動に自信をもって進んで行きたいと思います。

あなたは自分のクラブに満足していますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
満足	13 (39%)	3 (33%)	20 (49%)	8 (29%)	8 (32%)	28 (59%)	2 (15%)	15 (54%)	17 (43%)	114 (43%)
どちらかといえば満足	17 (49%)	5 (56%)	15 (36%)	14 (52%)	8 (32%)	16 (33%)	4 (32%)	9 (32%)	13 (32%)	101 (38%)
普通	5 (14%)	1 (11%)	6 (15%)	4 (15%)	8 (32%)	4 (8%)	5 (38%)	4 (14%)	10 (25%)	47 (18%)
どちらかといえば不満足	0	0	0	0	1 (4%)	0	2 (15%)	0	0	3 (1%)
不満足	0	0	0	1 (4%)	0	0	0	0	0	1 (0.3%)
合計	35	9	41	27	25	48	13	28	40	266 (100%)

ロータリー活動は自己成長は自己成長につながっていますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
大いに役立っていると思う	9 (25%)	1 (11%)	15 (37%)	5 (19%)	2 (8%)	19 (35%)	3 (23%)	8 (30%)	13 (33%)	75 (27%)
役立っている	24 (67%)	7 (78%)	21 (51%)	20 (75%)	17 (68%)	23 (42%)	8 (61%)	16 (59%)	19 (47%)	155 (57%)
わからない	3 (8%)	0	5 (12%)	1 (3%)	3 (12%)	13 (28%)	1 (8%)	3 (11%)	8 (20%)	37 (14%)
あまり役立っていない	0	1 (11%)	0	1 (3%)	3 (12%)	0	1 (8%)	0	0	6 (2%)
役立っていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	9	41	27	25	55	13	27	40	273 (100%)



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター 服部 良男 (愛知三州)

第2地域のロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) 第2760地区、愛知三州ロータリークラブの服部良男です。

2016～17年ガバナーを終わって、3年間ロータリー財団地域コーディネーター補佐、その後3年間コーディネーターで最終年度です。6年に渡り、多くのロータリーリーダーの皆様、日本事務局の皆様と一緒に活動できたことは、人生の財産です。

第2地域は、9地区ありますが、そのすべての地区が積極的にロータリー財団活動に取り組んでいらっしゃる、熱心な地区ロータリー財団委員長がいらっしゃいました。多くの地区財団リーダーが永年、ロータリー財団活動のリーダーとして活躍していらっしゃる方ですので、地区のロータリー財団活動の経験のない私は、多くのことを学ぶ素晴らしい経験でもありました。

そこで、地域のコーディネーターとしては、9地区のロータリー財団委員長の横のネットワークを創って、情報や、お困りごとを共有したりすることで、地域のとしての活性化をめざし、FF9というチームを創り5年になります。FF9とは、私の前任者の舟木いさ子RRFCのF、Rotary FoundationのFそして、9地区の9の頭文字です。ガバナーはガバナー会として横のつながりがありますが、地区委員長は、横の連携が無いので地域のコーディネーションが必要と結成しました。今年からは、E/MGA、EPNCもFF9に参加いただきました。

RRFCの3年間は、コロナ禍で、ほとんど、Zoomにてのオンライン会議になりましたが、2750地区の高橋茂樹補佐、2780地区の田中賢三、佐野英之補佐、2760地区の中村公彦、伊藤靖祐補佐と素晴らしい補佐に恵まれ、オンラインだから、より各地区のリーダーと交流や情報共有ができたと思います。FF9Newsを発行して、他地区の活動を共有したりしました。

今年度は、第2地域の地域リーダーが協働してチームになることを目指し、RPICの服部陽子様、RCの野口英一様、E/MGAの杉岡芳樹様、EPNCの伊藤雅基様と一緒に昨年10月の世界ポリオデー2022を企画運営いたしました。34地区の皆様には、ご協力いただき、誠にありがとうございます。地域リーダーチーム力が少しアップしたのではないかと考えています。

コロナのパンデミックがあったから、オンラインしかできなかったから、このようにFF9のチーム力が上がったし、地域リーダーの連携ができたと思っています。まさにコロナという脅威が連携という機会につながったと思います。

次年度に向け、次年度RRFCの伊藤靖祐リーダーと更なる活性化を目指していききたいと思います。今後もご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

国際ロータリー第2770地区インターシティミーティング



**第5グループ
第5グループガバナー補佐
那須 敬明
(上尾北 RC)**

第2部・第3部構成で開催致しました。

細淵ガバナー、大塚パストガバナーをはじめ、各 RC クラブより大勢の出席を賜りインターシティミーティングが盛大に開催されました。

第1部では、物故会員に黙祷の後、ご来賓及びガバナーのご挨拶をいただいた後、前年度ガバナー補佐へ感謝状及び記念品贈呈を行いました。

第2部では、東京足立 RC 所属の関東大学ボクシングトーナメントフェザー級2連覇達成後、プロボクサーデビュー、JBC レフェリーを務める吉田和敏様に「出会い・感謝・ボクシングのおかげで」の記念講演を行っていただきました。

第3部では、2020東京パラリンピックの閉会式でバイオリンの担当となり、この素晴らしき世界を演奏した式町水晶様の演奏の中、皆様と共にロータリーについて語り、各クラブが活性化するように願い、手に手つないで終了致しました。

最後に、ご来賓、各クラブの皆様、そして金子実行委員長、IM 実行委員の皆様及び事務局の皆様に感謝を申し上げご報告とさせていただきます。



From CAR GRAPHIC Publisher



株式会社カーグラフィック 代表取締役 加藤 哲也

経歴：

1959 年東京生まれ。1985 年株式会社二玄社入社、CAR GRAPHIC 編集部配属。2000 年から同誌 4 代目編集長を務める。2007 年から姉妹誌 NAVI 編集長を歴任。2010 年、CAR GRAPHIC 事業／商標を二玄社から譲渡され、新しい出版社株式会社カーグラフィック設立。

同社代表取締役に就任。現在に至る。

ロータリークラブ細淵雅邦ガバナーとはお互いの人生に欠かせない自動車を通じた 30 年来の友人。

サーキットやイベント会場で度々顔を合わせるだけでなく、先日は某有名シンガーのライブ後、イタリアンレストランで大騒ぎしたばかり。

ルマンを訪ねたのは今まで 4 回。2003 年、2004 年、2009 年、そして昨 2022 年だ。去年だけはルマン 24 時間ではなくルマン・クラシックだったので少し日程がずれたが、毎年夏至に最も近い週末、すなわち日照時間が 1 年で最も長い季節に行われる 24 時間耐久レースである。

驚くべきは現代の標準でも熾烈なこのレースが今年 100 周年を迎えることだ。なんと人類は一世紀にも渡り毎年フランス中部の田舎町に集まり、昼夜を徹し、命をかけた戦いを繰り返してきたのである。自動車界の先輩たちにありったけの敬意を表したい気分だ。

しかもこの記念すべき年。フェラーリのワークスチームがサルトサーキットに戻るのも嬉しい。昨年も出場していたトヨタ、プジョーに加え、今年はマラネッロの跳ね馬が最高峰の LMh (ルマン・ハイパーカー) クラスに参戦するのである。この 3 チームがシャシーもパワートレインもボディも全て自作する、つまり最も難易度が高いクラスで総合優勝争いを繰り広げることになる。

あなたがもしモータースポーツ通ならポルシェもキャディラックもルマンに出るだろう、と言うかもしれない。そう、仰る通り。両メイクとも参戦する。しかし彼らがエントリーするのは LMDh (ルマン・デイトナ・ハイパーカークラス) という LMh の 1 段階下のクラスで、マルチマチック、リジェ、ダラーラ、オレカの 4 社が製作する LMP2 シャシーのうちのどれかを選び、ハイブリッドシステムも FIA が認可する共通のハイブリッド・システムを用いることが義務づけられている。キャディラックとポルシェはマルチマチック製シャシーを用い、来年から参戦を表明している BMW とランボルギーニはダラーラを選択した。

驚きはフェラーリ 499P のポテンシャルの高さである。今年度 WEC (世界耐久選手権) はルマンを含み全 7 戦で争われるが、3/15 ~ 17 に開催された開幕戦セブリング 1000 マイルの予選でいきなりポールポジションを奪首。決勝でも 3 位入賞を果たすという望外の成績を挙げた。実はこの原稿を書いている前日にフェラーリ・モータースポーツ部門の広報マンと親しく話す機会を得たのだが、彼らにとっても予想を超えた好成績だったという。

中嶋一貴君が残りの 5 分ですべての電力を失ってポルシェの逆転を許した数年前のあの日を例外とすれば、ルマン 24 時間レースはずいぶん長い間ワンサイドゲームが続いている。例えば 2000 年代はどのメーカーが勝つか？ではなくどのアウディが勝つか？と言う少し残念な関心しか抱けなかった。

しかし今年はメーカーの威信を賭けた争いが起こる。ルマン本戦を前に前哨戦に当たる WEC の 2 レースがポルトガルとベルギーで 2 戦開催されるのである。つまりフェラーリもトヨタもマシンをさらに進化させる可能性が高い。

“魔物が棲む”と言われるルマンで、フェラーリは 1949 年に初参戦初優勝を遂げている。50 年代後半から 60 年代前半にかけては無類の強さを発揮して、中でも 1960 年から 65 年までは 6 連勝を遂げたほどサルトの神に愛された。しかし翌 66 年以降はフォード、ポルシェ、マトラといったライバルに手を焼き続け、312PB が 2 位に入賞した 73 年を最後にワークスチームのルマンからの撤退を決めた。

つまり 100 周年記念大会はフェラーリにとって半世紀ぶりの復帰戦でもあるのだ。なんというシナリオ！なんとロマンチックな導入部だろう。トヨタと世界ハイブリッドの盟主、ルマンの現役王者として万全の体制で迎え撃つに違いない。果たしてどんなクライマックスが待つか？筋書きのないドラマが如何なる結末を迎えるのか？気になって仕方がない。そんな折に届いたフェラーリからの招待状。だから僕は現地フランスに飛び、歴史に残る 1 ページをつぶさに観察し、大いに楽しんでこようと思う。



2022～2023 年度3月 会員数報告

クラブ名	2022年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
浦和	97	3	96	3	-1	10	9
浦和東	100	15	100	15	0	3	3
浦和南	22	3	24	2	2	5	4
浦和中	32	2	34	3	2	5	2
浦和ダイヤモンド	21	3	21	3	0	3	0
第1グループ計	272	26	275	26	3	26	18
浦和北	70	3	69	4	-1	10	4
さいたま中央	43	2	42	2	-1	5	1
さいたまシティ	21	2	20	1	-1	3	1
浦和北東	34	3	38	3	4	12	4
さいたま新都心	37	0	38	0	1	5	1
第2グループ計	205	10	207	10	2	35	11
大宮	63	2	67	2	4	3	9
大宮南	37	9	36	9	-1	7	1
大宮中央	37	1	37	1	0	3	2
大宮シティ	55	3	51	3	-4	5	0
さいたま樺	33	2	34	2	1	5	4
さいたま大空	17	7	16	6	-1	3	0
第3グループ計	242	24	241	23	-1	26	16
大宮西	114	10	112	12	-2	15	3
岩槻	23	1	25	1	2	5	2
大宮北	9	0	9	0	0	3	0
大宮東	37	1	43	3	6	5	7
岩槻東	25	3	24	3	-1	4	0
大宮北東	11	1	10	1	-1	3	0
第4グループ計	219	16	223	20	4	35	12
上尾	35	0	34	0	-1	2	0
鴻巣	27	4	27	4	0	5	0
桶川	22	1	21	1	-1	5	1
上尾西	41	3	42	3	1	3	1
北本	6	1	5	0	-1	3	0
上尾北	20	0	19	0	-1	2	0
鴻巣水曜	29	2	29	2	0	2	1
桶川イブニング	26	3	28	3	2	2	2
第5グループ計	206	14	205	13	-1	24	5
春日部	27	1	29	2	2	3	3
杉戸	40	1	40	2	0	3	2
春日部西	27	3	28	3	1	5	1
庄和	17	0	17	0	0	2	0
春日部南	28	1	28	2	0	3	1
春日部イブニング	32	2	36	2	4	2	4
第6グループ計	171	8	178	11	7	18	11

クラブ名	2022年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
幸手	43	1	43	1	0	3	1
蓮田	49	4	50	4	1	5	2
久喜	47	5	49	6	2	10	3
幸手中央	19	2	20	2	1	6	1
第7グループ計	158	12	162	13	4	24	7
越谷	91	3	93	3	2	5	5
越谷南	41	4	39	3	-2	3	2
越谷北	41	1	43	2	2	2	2
越谷東	55	4	56	3	1	5	2
越谷中	13	3	12	2	-1	1	0
第8グループ計	241	15	243	13	2	16	11
八潮	33	2	39	3	6	3	7
八潮イブニング	12	0	12	0	0	2	0
草加中央	7	3	7	3	0	0	0
八潮みらい	18	1	19	1	1	2	1
草加松原	31	2	34	2	3	3	3
草加シティ	16	6	19	7	3	4	3
第9グループ計	117	14	130	16	13	14	14
吉川	12	0	12	0	0	2	0
三郷	25	3	24	4	-1	3	1
三郷中央	15	1	15	1	0	3	0
三郷ウェンズデー	7	1	9	1	2	2	3
松伏	18	2	17	2	-1	2	0
吉川中央	14	3	14	2	0	3	1
第10グループ計	91	10	91	10	0	15	5
川口	99	18	99	18	0	12	6
鳩ヶ谷	15	1	14	1	-1	3	0
川口東	23	1	24	1	1	5	1
川口/鳩ヶ谷武南	21	3	21	3	0	3	0
川口モーニング	25	2	25	2	0	5	1
川口南	21	4	20	4	-1	3	0
川口シティ鳩ヶ谷	10	2	11	3	1	2	1
埼玉ゆず	4	4	4	4	0	4	0
第11グループ計	218	35	218	36	0	37	9
戸田	57	5	55	5	-2	2	0
蕨	18	4	20	4	2	2	2
川口西	14	2	14	2	0	5	0
戸田西	18	1	16	1	-2	2	0
川口北	25	3	26	3	1	3	2
川口北東	5	0	4	0	-1	5	0
川口中央	10	1	10	1	0	2	0
川口むさし野	16	3	16	3	0	2	0
戸田イブニング	10	0	10	0	0	2	1
第12グループ計	173	19	171	19	-2	25	5
地区合計	2313	203	2344	210	31	295	124